

聞いてきました
50
みんなの広場

玉村地区地域包括ケアネットワーク会議

お話を伺ったのは代表の大野雅弘さんです

医療・介護・福祉事業所の連携のために



たまむら防災ネットワークセミナー

会の発足の経緯は？

玉村地区の医療・介護・福祉に関係している方々や地域の各種団体とのネットワークを強化し、事業所間の連携を密にしたいと考え発足しました。

どのような活動をしていますか？

事業所を対象とした意見交換会や、虐待防止や防災に関するセミナーを企画開催し、スタッフの研鑽や交流を図る活動をしています。

ほかにはどのような活動をしていますか？

新型コロナウイルスの感染が町内で発生し、介護事業所への風評被害や誹謗中傷などが発生したため、各事業所へアンケートを実施し集約しました。群馬県と玉村町へ要望書として提出し、介護事業所の現状について知っていただく活動を行いました。



虐待防止セミナー



障害福祉制度研修会

議会だよりを読んでいますか。感想は？

毎回読んでいます。福祉関連の一般質問は興味があり読んでいます。

今回は小林委員が取材しました(写真は2019年以前のものです)

こちら編集室

新しい年を迎えました。でも、「新しい生活様式」で迎えた新年は、いつものお正月行事も控え目に、人出の中に繰り出すことも少なく、自粛の日々となっています。新型コロナウイルスの感染予防は、一人一人が、自らの意思で実行することが大切で、家から出ない、人と会わないようにする、感染を家庭や職場に持ち込まない。いくら注意しても、し過ぎることはないと思います。感染者が減少し、下火になったように見えるとき、つい、気持ちが緩んで対策を怠る人が増える。すると、たちまち新たな感染の広がりが始まっていく。「新しい生活様式」、様々なメディアで確認すること



議会広報特別委員会
 委員長 石内 國雄
 副委員長 新井 賢次
 委員 小林 一幸
 委員 原利 幸均
 委員 月田 利均
 委員 備前島 久仁子
 議長 三友 美恵子

ができます。玉村町でも「広報たまむら」や「メルたま」などで何回も発信しています。これからも度々、発信されていきます。感染拡大を抑える。感染を収束させる。そして、新型コロナウイルス感染が広がる前の日常生活に戻る。一人一人の自覚と行動が大切だと考えます。もう一度、気を引き締めて「新しい生活様式」を実践していきましょう。(原 利幸)

たまむら議会山柳
初詣 コロナ収束 大台掌

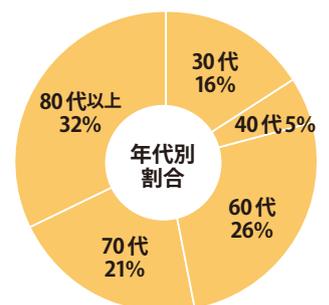
(詠み人 けんちゃん)

次回定例会の予定

3月3日(水)
 18日(木)

本会議・委員会は、どなたでも傍聴できます

12月議会の傍聴者は
19人でした。
 (男性：14人・女性5人)



※10代・20代・50代はなし